

新型コロナワクチン 最新情報

※ 掲載内容は後から変更される場合があります

【詳細】保健センター 新型コロナウイルスワクチン担当 ☎ 385-8910

「秋開始接種」が始まります

「春開始接種」は8月まで

現在、実施中の「令和5年春開始接種」は、8月31日までとされています。対象となる方で接種を希望される方は、お早めにご予約ください。

「秋開始接種」は

9月以降に開始予定

● 使用するワクチン

国では「XBB.1」系統の成分を含有する1価ワクチンを用いるのが適当」という方針を示していますが、具体的なワクチンの種類、接種間隔、薬事承認の見通しなどは不明です。

● 接種券の発送時期

秋開始接種の詳細が分かり次第、最終接種からの接種間隔を満たしている方から順に発送する予定です。（早くて9月上旬以降）

お手元に接種券がある方は、その接種券を使用することができます。

■ 副反応などに関するお問い合わせ

北海道ワクチン接種相談センター
☎ 0120-306-154
(9時～17時30分 土日祝日も受付)

【令和5年度の対象者と接種期間】

	対象者	期間	使用ワクチン
令和5年 春開始接種	初回接種(1・2回目)を終了した以下の方 ・高齢者(65歳以上) ・医療従事者など ・基礎疾患を有する方など	～8/31(予定)	オミクロン株対応 2価ワクチン
令和5年 秋開始接種	初回接種(1・2回目)を終了した5歳以上の方	9月以降(未定)	未定

ふだんの生活にプラス1 ここにもあるある! Part21

協働のまちづくり

【詳細】

市民生活課 ☎ 381-1124

より良い地域を目指して、そこに暮らす人々が協力して取り組む「協働のまちづくり」。わたしたちの身近で行われている取り組みを紹介します。

地域とつながる野菜マルシェ

活動のお問い合わせ：地域で楽しく暮らすネットワーク

☎ 375-6336 ☎ 375-6505

Eメール qqnv6mt9k@galaxy.ocn.ne.jp



「笑くぼ野菜マルシェ」は、野幌商店街の八丁目プラザのつぼ（菓子工房笑くぼ前）で6月～10月の毎週火曜日に開かれています。障がいを持つ人たちが、自分たちで育てた野菜をはじめ、豊幌のアンビシャスファーム、美原の

橋本農園、ゆめみ野の寺嶋農園など市内の農園で採れた新鮮野菜を販売しています。

地域（まち）で楽しく暮らすネットワークでは、障がいを持つ人たちと地域の方々とのふれあいを通して、互いに認め合い、理解し合いながら、楽しく暮らしていくことを目指して、農業と福祉の連携、障がい者就労支援の一環としての取り組みを続けていきます。

マイナンバーカード申請サポート

【詳細】戸籍住民課 ☎ 381-1146



申請に必要な顔写真を無料で撮影し、申請書の記入までお手伝いします。通知カードやこれまで届いた申請書（ある方のみ）を持参。直接会場へ。

会場	8月実施日
市民会館	24(木)
中央公民館	10(木)
野幌公民館	15(火)
大麻公民館	29(火)
イオンタウン江別1階 au ショップ横(野幌町10-1)	21(月)・22(火)

※いずれも 10:00～16:00 (予約不要)

市長との「未来づくり懇談会」

を実施しています

【詳細】秘書課 ☎ 381-1008

サークルやクラブ単位など、少人数形式で市長と「まちづくり」や「未来」について語りませんか？詳細は市HP、または秘書課までお問い合わせください。



ちょっとした手間で 減らそう！夏場の生ごみ

【詳細】 廃棄物対策課 ☎ 383 - 4211

気温が高くなる夏場は、生ごみが腐敗しやすく、悪臭の原因にもなります。生ごみを減らしましょう。



ごみ減量を推進する孤高の侍
ゴミザムライ



食材を無駄なく使おう

日本全国の食品ロス（食べられるのに捨てられる食品）は年間 523 万トン※と推計され、1 日 1 人当たり 114 グラム（茶碗約 1 杯分のごはんに相当）にもなります。（※農林水産省 HP 報道発表資料）

特に多く捨てられている野菜を、ゆでたり、以下のようなひと手間（冷蔵庫で 3～4 日もちます）を加えるなどして長持ちさせましょう。

野菜を長持ちさせるコツ

白菜

新聞紙で包み、縦にして冷暗所に保存する。カットしたものは、切り口をラップで包んでから新聞紙で包む。



ニンジン

水気を拭き取り、新聞紙で包んでからポリ袋に入れて、立てて保存する。



ニラ

濡らしたキッチンペーパーで包んでからラップに包み、立てて保存する。



生ごみの水分を減らそう

生ごみは約 80% が水分と言われています。以下を参考に水分を切って減らしてから捨てましょう。

- ①生ごみを濡らさず、水切りネット、水切り器を使い、ギュギュッと最後にひと絞りする。
- ②野菜や果物の皮など、使わない部分は洗う前に取り除き、トレイなどで乾燥させる。
- ③茶葉や野菜くずなどは日光に当て、水分を飛ばす。



「商品のとまえどり」にご協力を

日常でのお買い物で、購入したあとすぐに食べる場合には、商品棚の手前にある、販売期限の迫った商品を積極的に選ぶ「とまえどり」にご協力ください。「とまえどり」に協力することで、販売期限が過ぎたため廃棄される食品ロスを減らすことができます。

マイバッグ、マイボトル、マイカップを使いましょう！

プラスチックごみの削減のため、マイバッグの利用にご協力ください。

また、プラスチック容器の使用量の削減に向けて、オフィスや外出先での飲食時に、使い捨てカップから、水筒などのマイボトルやマイカップに切り替えませんか。



カラスによる被害を防ぎましょう

カラスは物を識別する能力が高く、ごみ袋の中にエサを見つけると、袋を破り周辺にごみを散らかします。この被害は、私たちの工夫や努力である程度解消することができます。【詳細】 廃棄物対策課 ☎ 383-4217

被害を防ぐ生ごみの出し方

- ①食品の無駄や食べ残しなどの生ごみをできるだけ減らす。
- ②生ごみの水分を十分に切ってビニール袋などに入れ、空気を抜いてから、しっかりと口を結ぶ。中身が見えないように不要な紙で包み、指定ごみ袋の中心に隠すように入れる。
- ③食品の容器なども水ですすいでから捨てる。



市には、カラス除けサークルの貸出制度（1 年間）があります。詳細は、廃棄物対策課（☎ 383-4217）へお問い合わせください。



効果的なごみステーションの管理

上空からごみが見えないように置き方を工夫したり、目の細かい防風網などのごみネットをかぶせましょう。また、ごみネットの四辺に金属製のチェーンを重りとしてつけるなど、カラスがネットを持ち上げられないよう工夫しましょう。